



一緒に汗を流して深める交流

9月7日、高齢者スポーツ教室に参加した人たちが子持社会体育館に一堂に集い、「はつらつスポーツ大会」が開催されました。種目はユニカール(写真)、ディスク、ラダーゲッターの3種目。競技はチーム対抗戦で行われ、各チームとも仲間同士で力を合わせ、和気あいあいと競技を楽しんでいました。

主な内容

阿久津市政2期目へ…………… 2
第22回黒井峯遺跡マラソン参加者募集 …… 7

秋のイベント情報…………… 4
介護予防サポーターについて…………… 10

阿久津市政2期目へ

「輝くまちづくりを目指して」

9月1日に行われた渋川市長選挙の結果、阿久津貞司市長が再選し、9月4日に初登庁式を行いました。阿久津市長は、大勢の市民や市職員に拍手で迎えられ、「市民の皆様と行政が一体となって事業を進め、渋川市に住んで良かったと思っていただけのように努力していきたい」と決意を述べました。

《就任あいさつ》

謹んで2期目の就任のごあいさつを申し上げます。

2期目は、

- ① 生き生きと「市民が輝く」まち
 - ② はつらつと「地域が輝く」まち
 - ③ ひとびとの「生活が輝く」まち
- という3つの輝くまちづくりを目指します。

『皆さんの思い』と『私の思い』を形にするため、寄せられたご意見、ご要望にしっかりと耳を傾けながら、この4年間で市民の皆様にご合併して良かった。渋川市民で良かった」と言っ

市長 阿久津貞司



いただけるよう、山積みする諸課題に誠心誠意、全身全霊を傾けて取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

市長プロフィール

- ・昭和20年旧長尾村(現渋川市)に生まれる
- ・昭和38年 県立中之条高校卒業
- ・旧子持村村長(2期)
- ・渋川市長(1期)
- ・趣味/スポーツ・読書
- ・好きな言葉/誠心誠意道理を貫く
- ・北牧在住

阿久津市政4年間の足跡



■ 渋川総合病院と西群馬病院の再編統合(写真①)

各種医療体制の充実に努めるために、渋川総合病院と西群馬病院を再編統合し、27年度中に新病院の開院を予定しています。

■ 防災行政無線を新システムに移行

東日本大震災の教訓を生かし、防災行政無線を新システムに移行し、25年度から一部運用を始めました。

■ 「旧渋川公民館」の保存(写真②)

市民の皆さんの要望に応え、旧渋川公民館の保存を決定しました。

■ 「光ファイバー」を市全域に整備

情報化社会に不可欠なインターネット環境の整備として、光ファイバーを市内全域に整備しました。

■ 「通学バス」の充実(写真③)

児童生徒の安心安全の確保として、「通学バス」の運行路線を市内全域に広げ、合併前の9路線から17路線に拡充しました。

■ 農産物のブランド化

食の安全や付加価値を高めるため、選別農薬農法や竹炭を活用した農産物の生産を推進し、渋川ブランドづくりに着手しました。

■ 石段の延伸や広場の整備(写真④)

市の観光拠点である伊香保温泉の再生事業において、石段の延伸や広場の整備を行い、集客の拡大に努めました。

■ 病後児保育の開始・幼保の園舎の改築

市内初の病後児保育を開始し、老朽化した幼稚園・保育所の園舎の改築を行いました。



～市長の政策方針～

〈地域福祉・医療体制の充実〉

すべての市民の皆さんが、地域においていきいきと暮らせるように、地域福祉の充実に努めます。また、渋川総合病院と西群馬病院の再編統合(仮称:渋川医療センターの開院)を進め、地域医療体制を整備します。

〈観光客の誘致促進〉

伊香保温泉を核とし、市内各地区の観光資源の一体的なPRと観光ルートづくりを推進します。また、県や市の観光大使などと連携し、アジア諸国からの観光客の誘致を推進します。

〈スポーツによる健康づくり・地域振興〉

「一市民一スポーツ」をスローガンとし、子どもからお年寄りまで、多くの市民がスポーツに親しむ機会を拡大し、心身の健康づくりを推進します。また、地域の魅力を広く発信するため、各種のスポーツ大会や合宿の誘致を行い、交流人口の拡大に努めます。

〈地域経済の活性化〉

積極的な企業誘致を進めるとともに、地元消費の拡大や、商業イベントの支援を行い、活力ある産業振興に取り組みます。また、市独自の「選別農薬農法」や竹炭を活用した農作物の栽培などの促進を図り、渋川ブランドの確立、農業所得の向上に努めます。

〈子育て環境の充実〉

保育や相談体制などの充実、出産や育児、子育てにかかる負担の軽減を図り、子どもを産み、育てやすい環境づくりに取り組みます。

〈教育環境の整備〉

子どもたちの学習環境を整えるために、小中学校の再編統合の支援を行うとともに、教育環境の充実に努めます。

第7回渋川市たちばな竹の里フェスティバル・第16回北橋地区八木節大会

10月19日・20日/北橋総合支所ほか

竹の文化の推進と郷土芸能の継承、それぞれの魅力を一緒に披露するイベントを開催します。

■竹工芸作品展

とき 10月19日(土)、20日(日)午前9時～午後6時
(20日は午後4時まで)

ところ 北橋総合支所市民ギャラリー

内容 県内外から募集した竹工芸品などを展示します

■竹炭の無料配布

とき・ところ ▷10月19日(土)午後3時30分＝北橋総合支所中庭
▷10月20日(日)午前11時30分＝北橋公民館

内容 北橋地区で作った竹炭を無料で配布します(終わり次第終了)

■竹と光のページェント

とき 10月19日(土)午後4時～7時

ところ 北橋総合支所中庭

内容 竹筒1,000本余りを使ったオブジェに、賞味期限切れ油から作ったろうソクの火を灯します

その他 ポップコーン、焼き肉、牛乳、豚汁の無



料配布(午後3時30分・終わり次第終了)

■竹の子郷土料理の試食

とき 10月20日(日)午前11時30分

ところ 北橋公民館

内容 タケノコを食材にした郷土料理の試食(終わり次第終了)

■「竹音楽の世界」と八木節大会

とき 10月20日(日)正午～午後4時(予定)

ところ 北橋公民館ホール

内容 竹太鼓をはじめとした竹楽器等の演奏や、北橋地区の八木節団体による踊りなど

詳しくは、北橋公民館(TEL②2300)へ。

スポレクフェスティバル

10月20日/市武道館



市スポーツレクリエーション協会では、加盟しているさまざまな団体の日ごろの練習の成果を披露する発表会を開催します。


とき 10月20日(日)午前9時～正午

ところ 市武道館

入場料 無料

参加団体 ジャズダンスクラブ、エアロビクス愛好会、フォークダンス愛好会、渋川3B体操愛好会、ダンベル愛好会など

その他 当日は体験教室も開催予定

詳しくは、体育課(TEL②2104)へ。

第14回縄文まつり

10月12日/北橋歴史資料館



とき 10月12日(土)午前10時～午後2時30分(荒天の場合は中止)

ところ 北橋歴史資料館

内容 縄文土笛・土鈴作り、^{まがたま}勾玉作り、縄文アクセサリー作り、鹿狩り体験、石皿粉ひき体験、火起こし体験など

入場料 無料

※縄文アクセサリー作りなど、一部のコーナーでは材料費が掛かります。

詳しくは、北橋歴史資料館(TEL⑤4094)へ。

秋はイベント盛りだくさん





子持生涯学習フェスティバル

10月26日・27日/子持社会体育館

とき 10月26日(土)、27日(日)
午前9時～午後5時(27日は午後4時まで)

ところ 子持社会体育館

内容 作品展示、芸能発表、囲碁将棋大会、チビッコ将棋大会、茶席など

入場料 無料

詳しくは、子持公民館(TEL 227780)へ。



文化講演会

10月26日/子持社会体育館

とき 10月26日(土)午後7時～8時30分(午後6時30分開場) ところ 子持社会体育館 講師 高橋元太郎(俳優) 内容 『うっかり八兵衛の「元気」になる話』 入場料 無料 問い合わせ先 子持公民館

市民総合文化祭「歌舞伎発表会」

10月27日/市民会館



とき 10月27日(日)午前10時30分～午後2時30分

ところ 市民会館大ホール

内容 市内3座(渋川歌舞伎・赤城歌舞伎・渋川子ども歌舞伎)による歌舞伎の発表

入場料 無料

詳しくは、生涯学習課(TEL 22500)へ。

第8回渋川地域子育てフェスティバル

10月12日/北橋公民館ほか

とき 10月12日(土)午前10時～午後3時

ところ 北橋公民館および北橋総合支所前芝生ひろば

内容 ▷公民館＝ぐんま天文台、サイエンスルーム、わくわく遊びアイランド、ベビエヨガ、紙芝居、子育てカフェ&子どもパティシエなど ▷芝生ひろば＝ポニーとのふれあいコーナー、太鼓演奏、あおぞらマーケットなど

※ハッピーハロウィンとして仮装してきたお子さん先着100人にお菓子をプレゼントします。

詳しくは、しぶかわ広域子育てネットあしたば事務局(TEL 090-9375-9388)または本子ども課(TEL 22415)へ。



家族で
出かけよう!



ハンギングバスケットコンテスト

市では、花で包む未来の渋川へ向けた取り組みの一つとして、ハンギングバスケット(壁掛け式の寄せ植え)コンテストを開催します。初心者向けのコンテストです。気軽に応募してください。

作品規格 壁掛けタイプで幅80センチ×高さ1メートル以内のもの

募集作品数 20作品(先着順)

申込方法 電話で 都市計画課

TEL 22073へ(土・日曜日、

祝日を除く午前8時30分～午後5時15分)

申込開始日 10月3日(木)

表彰内容 優秀作品には表彰状と賞品を授与します

作品展示

とき 10月23日(水)～31日(木) ▼搬入 10月23日(水) ▼審査 10月25日(金) ▼表彰・搬出 10月31日(木)

ところ 市役所本庁舎正面玄関前スロープ



対象は初心者／作品は市役所玄関前に飾られます

渋川広域組合からのお知らせ



しらゆり聖苑の指定管理者を募集します

渋川地区広域市町村圏振興整備組合では、渋川広域斎場しらゆり聖苑の指定管理者を募集します。

対象施設 渋川広域斎場しらゆり聖苑

指定期間 平成26年4月1日～31年3月31日の5年間(予定)

募集要項等配布期限 10月21日(月)

募集要項等配布場所 渋川地区広域市町村圏振興整備組合事業課

応募書類提出期間 10月21日(月)～31日(木)

施設説明会を開催します
応募希望者を対象にした施設説明会を開催します。

とき 10月10日(木)午前10時から

ところ 渋川広域斎場しらゆり聖苑

詳しくは、渋川地区広域市町村圏振興整備組合事業課(石原143-1 TEL 5250)へ。

指定管理者制度とは
指定管理者制度は、公の施設の管理に、民間の運営手法や創意工夫を活用し、サービスの向上と効率的な管理運営を図ることを目的に設けられた制度です。

「ふるさと通信しぶかわ」の読者を募集します

「ふるさと通信しぶかわ」(年2回発行)は、県外に住む本市出身者に、本市の魅力や懐かしい「ふるさと」の情報を無料でお届けする冊子です。今回、第15号の発行に伴い、新規読者を募集します。本市出身者で県外に住む親せきや友人などへ送付を希望する人は、ぜひ、申し込みください。なお、見本は市役所本庁舎(市民課受付窓口)と各総合支所に配置するほか、市ホームページ

(<http://www.city.shibukawa.lg.jp/>)に掲載してありますのでご覧ください。

申込方法 送付先(新規読者)の氏名、住所、郵便番号および出身地区名、紹介者の氏名、住所を電話またはファクスで本秘書広報課(Tel 22182・Fax 246541)へ

※申し込み済みの読者で、住所などに変更があった場合は、秘書広報課へ連絡をお願いします。

第22回黒井峯遺跡マラソン参加者募集

遺跡の眠る大地を疾走しませんか

冬の子持地区を駆け抜ける「黒井峯遺跡マラソン」が開催されます。距離別のマラソンや親子種目、ウオーキングなど、子どもから大人まで楽しめる大会です。また、ゲストラランナーとして、県民マラソンハーフの部2連覇中の本田勝也さん・浜川広域消防本部職員）が参加します。

とき 12月15日(日)

ところ 黒井峯遺跡マラソンコース(子持中学校)

種目 ▼マラソン2キロ以上10キロ以下
1・2年生と保護者、小学3・4年生男子・女子、小学5・6年生男子・女子、50歳以上男子、40歳以上女子 ▼マラソン4キロ以上10キロ以下
中学生男子・女子、高校生39



歳男子・女子、40歳以上男子・女子 ▼マラソン10キロ以上50キロ以下
小学生34歳、35歳、49歳、50歳、59歳、60歳以上、女子(高校生39歳、40歳以上)
▼ウオーキング5キロ以上制限なし
参加料 1種目500円
申込方法 ▼郵便振込専用
振込用紙(市内の各公民館にありますが)に必要事項を記入し、参加

料を振り込んでください
▼インターネット申し込み www.run.com.jpにアクセスしてください
申込期間 10月7日(月)～11月15日(日)
申込に関する問い合わせ先 (有)ラップシステム「黒井峯遺跡マラソンエントリーセンター」☎0463-3516691
その他 当日は、山西哲郎さん(立正大学教授)によるスポーツ教室とマラソン健康相談を開催します。また、こんにゃくおでん・コリアなどの無料配布や特別プレゼントを用意しています
詳しくは、黒井峯遺跡マラソン事務局(子持公民館内)☎27780へ。

国民年金付加保険料

付加保険料を納めてより安定した年金生活を

将来、より高い老齢給付を受けるために、国民年金の第1号被保険者(自営業者など)や65歳になるまでの任意加入被保険者は、希望により、定額保険料に加えて付加保険料を納めることができます。付加保険料を納めると、将来、付加年金が加算さ

れた老齢基礎年金を受給することができます。

■付加保険料 400円(月額)

※国民年金基金の加入や多段階免除などの免除制度を利用してはいる人は、付加保険料を納めることができます。

■付加年金(年金受取額)の計算式

付加年金受給額(年額)＝200円×付加保険料を納めた月数
※2年間を超えて付加年金を受け取れば、納めた付加保険料以上を受給できることとなります。
詳しくは、浜川年金事務所国民年金課☎21607または本保険年金課☎24229へ。

小野上農林漁業体験施設予約受付中/木工細工や郷土料理に挑戦!

小野上農林漁業体験施設では、木工細工や郷土料理の手作り体験ができます。また、趣味やクラブ活動の場として施設を利用することもできます。ぜひ、ご利用ください。

体験メニュー・費用

▷木工細工＝本立て、マガジンラック、ペン立て、新聞入れ、プランター入れ(1人500円・プランター入れは1人1,000円)

▷郷土料理(そば・うどん・こんにゃくコース)＝各コースとも2,000円(4人1組)

※材料、施設使用料、指導料などを含む。
※施設利用のみの場合は、半日1,000円、1日2,000円。

申込方法 希望日の2日前までに電話でSUNおのがみ☎208111へ

詳しくは、☎経済建設課☎21111へ。

渋川ほっと人

心も体もリフレッシュ

仲間と眺める山頂からの大パノラマ

「みんなで楽しくおしゃべりしながら、きれいな景色が見られるのが一番の楽しみ」と、登山の魅力について話してくれた横山絢音さん。今年の夏まで県立渋川女子高等学校の山岳部に所属していた、高校3年生です。

横山さんが登山を始めたのは、高校に入学してから。山岳部の部活動紹介でスライドショーを見て、「楽しそう」と、山に興味を持ったのがきっかけでした。

山岳部に入って初めて登った山は、榛名山。荷物が重く感じて大変だったそうです。しかし、毎週3回の部活動での走り込みや筋トレを重ね、体力を付けていきました。そして、高校2年生の時に出場した、個人で登山のタイムを競う県新人登山大会



横山 絢音さん
(中郷・17歳)



登山競技は、登山の速さや登り方だけではなく、テントの設営方法や筆記試験も競技種目となっています。

では、優勝するほどに成長しました。

その後、さまざまな山に登り、たくさんの大会に出場してきた横山さん。今まで登った山の中で一番印象に残っているのは、九州の九重連山。この山々は、今年の夏に横山さんたち渋川山岳部のメンバーで出場した全国高等学校総合体育大会登山大会の登山コースでした。九重連山について、「石や土が関東の山とは違い感動した。また、全国大会ということもあり、印象に残っている」と話してくれました。

最後に今後の目標を伺うと、「今までみんなと登った山を、今度は一人でも登れるようになり、あこがれの北アルプスに登りたい」と笑顔で話してくれました。

きらり サークル仲間

渋川ハーモニカクラブ

みんなで息をそろえて楽しく演奏



代表 加藤一久さん
☎⑤344

内容 ハーモニカ
日程 第1・第3火曜日
午前10時～11時30分
場所 豊秋公民館
会員数 6人

☆一言アピール☆

こころを一つにして奏でるハーモニカ合奏の楽しさは格別。時にはおしゃべりも楽しみながら…。和やかな雰囲気の中にも、真剣に練習に励んでいます。興味を持った人は、ぜひ、一度練習に参加してみてください。

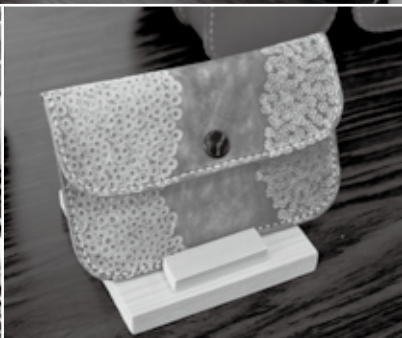


お 手前に磨きをかけ礼儀を自然に身に付ける

「渋川南小学校放課後子ども教室」

渋川南小学校で毎週月曜日に開かれている「放課後子ども教室」。文化活動や地域交流などを行い、子どもたちが心豊かで健やかに成長することを目的に、5年前から始められた活動です。今年度のカリキュラムは日本舞踊と茶道。茶道教室が開かれたこの日、子どもたちは真剣に、手順を確認しながらお茶を点てていました。お茶の先生から指導を受けながら行う茶道は、普段では体験のできない、凛としたひととき。18人の子どもたちは毎週休まず参加しています。

ふくさの使い方もしつかりと学びます(左)
見事な手つき(右上)
後片付けも自分たちで最後まで(右下)



革 独特の質感を
楽しみながら小物作り

「革工作教室」

9月10日、11日に北橘公民館で「革工作教室」が行われました。「革」を使った工作に親んでもらう目的で開催され、2日間で小物入れを完成させるというこの教室。初日の10日、参加者たちは、革の表面に刻印を打ちつけて模様を作ったり、自分の好きな色に色付けをしながら、デザイン決めで夢中。途中、先生が説明に冗談を交えたりして、終始和気あいあいとした雰囲気の中で革工作を楽しんでいました。

北橘地区は革工作が盛ん。先生は、たくさんの人に革工作の楽しさを伝えたいそうです

みんなで元気・長生き 応援したい！ ～渋川市の介護予防～



「介護予防」という言葉をご存じですか？介護予防とは、介護が必要な状態になることを、事前に防ぐ取り組みのことをいいます。市で行っている事業とともに、「介護予防」について分かりやすく紹介します。

介護予防の強い味方 介護予防サポーター

市には、介護予防の強い味方、「介護予防サポーター」がいます。サポーターは、「みんな元気に、最後まで地域で生活できるようにサポートしたい」という情熱を持つ人の集まりです。市の事業のお手伝いをしたり、地域で運動教室を開催したりしています。

運動を続けるコツは、なんと「いつでも「みんなでやること」です。皆さんの「元気アップ」のやる気に応え、お手伝いするのが、介護予防サポーターなのです。

4つのメニューで元気・長生きを応援！

市で開催している、「元気アップメニュー」を4つ紹介します。

メニュー① みんなで楽しく運動！

「シニア筋力ぐんぐん教室」を、市内13会場で実施しています(毎月15日号の広報しぶかわに掲載)。教室では、「シニアの暮らしを広げる10の筋力トレーニング」を行っています。続けている人からは、「歩きやすくなった」「つまずきにくくなった」という声がたくさん寄せられています。

また、一部地区のみですが、介護予防サポーター主催で地域にあった運動教室も開催しています。

シニア元気度チェック表(左ページ参照)で該当になった人には、



もつとじつくりトレーニングができる「高齢者筋力アップ教室」も行っています(送迎付き)。

メニュー② あなたの地域で元気アップ！

地域の会館に向いて、介護予防のお話しをしたり、著名な講師を招いて講演会も行っています。



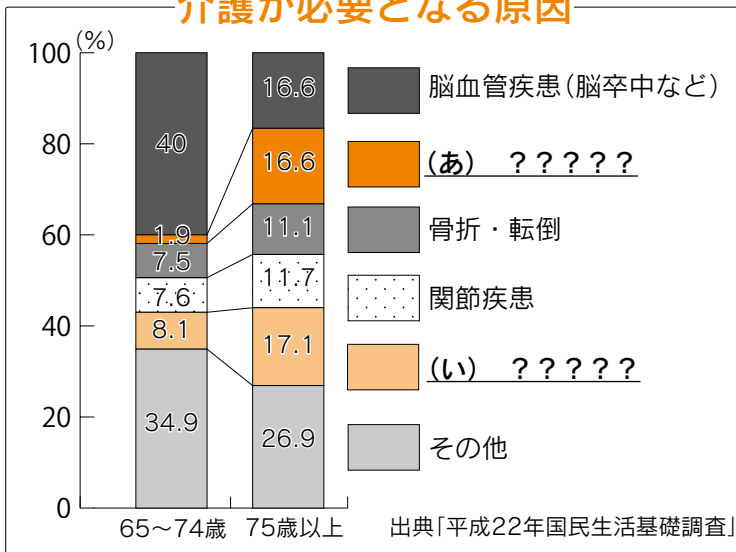
メニュー③ 笑って認知症を撃退！

10月から、「笑って認知症を予防しよう」をテーマに「ハピネスクラブ」を開催します。

また、シニア元気度チェック表で該当になった人には、明るく頭を使う「はつらつ教室」を週1回開催しています。

クイズで学ぼう！お達者クイズ

介護が必要となる原因



〈問題①〉

介護が必要となる原因は、65~74歳と、75歳以上とは大きく異なります。左表のグラフの中で、75歳以上になるとグンと増える(あ)と(い)は何でしょう？

〈問題②〉

左下のイラストをご覧ください。
Aさん：毎日3.4Km以上歩きます
Bさん：毎日0.4Km未満しか歩きません

どちらが認知症になりやすいかというのと…、もちろんあまり歩かないBさんです。では、どのくらいの差があると思いますか？

- ① 1.3倍
- ② 1.5倍
- ③ 2倍

〈問題①の答え〉

(あ)が「高齢による衰弱」、(い)が「認知症」です。逆に、「脳血管疾患」は74歳以下の人に多い原因となっています。

〈問題②の答え〉

③。BさんはAさんより、2倍認知症になりやすいという研究結果が出ています。「介護予防には運動がいいのよね。それはわかっている、でも続けるのが難しい…」ですよね。

そんな人には、右ページのメニュー①がオススメ！

Aさん



Bさん



市では、みんなで集まって元気アップをする地域を応援しています。行幸田福寿友交会では、今年度から運動教室を始めました。開催には介護予防サポートの協力や、市や関係機関が支援します。皆さんの地域でもぜひ、始めてみませんか？

応援します！ 地域の活動

シニア元気度チェック表とは
66歳以上の市民で、要介護認定を受けていない人に、年1回シニア元気度チェック表を送付しています。回答を返送すると、元気度をチェックします。「さらなる元気アップがおすすめ」と判定された人に、教室の案内をしています。

メニュー④
しっかり食べて、しっかり飲んで！
元気で長生きするためには、食事をしっかりかんで、きちんと飲み込めることが大切です。シニア元気度チェック表で該当になった人には、歯と口の元気アップを目的とした「ハッピークラブ」を実施します。

詳しくは、☎高年齢福祉課(☎22)2116へ。

私事で恐縮ですが、来年80歳を迎える中、介護される側になることを自覚しました。また、老人クラブ員の年齢も高齢化し、介護を身近に感じる年齢になったため、みんなで元気に安心して暮らしていけたらと、トレーニングや介護予防講座の教室を始めました。始めてみると、運動だけでなく会話も弾み、楽しめる居場所作りにもなりました。サポーターの皆さんの説明も丁寧で分かりやすく、参加者にも好評です。課題もありますが、今後ぜひ、続けていきたいですね。



「体験インタビュー」
行幸田第一福寿友交会
会長 草間正義さん

情報ぼっくす

《マークの見方》

本 = 本庁舎 **二** = 第二庁舎
伊 = 伊香保総合支所 **小** = 小野上総合支所
子 = 子持総合支所 **赤** = 赤城総合支所
北 = 北橋総合支所 **電** = 電話番号
ファ = ファクス番号 **E** = Eメールアドレス
時 = とき・期間 **所** = ところ **内** = 内容
師 = 講師・医師 **対** = 対象者 **定** = 定員
費 = 参加料・入場料 **持** = 持参するもの
申 = 申込・参加方法 **問** = 問い合わせ先
期 = 申込期間・開始日・期限 **他** = その他

人口と世帯／平成25年8月末現在

- 人口 82,783人(男40,458人、女42,325人)
- 世帯 31,645世帯
- 8月のうぶごえ 男の子29人、女の子32人

お知らせ

日本赤十字社 社資募集結果

本社会福祉課 ②2359

5月1日から全国一斉に実施された「赤十字社員増強運動」において、本市の日赤社資募集では、皆さんから総計1412万4726円の善意が寄せられました。

日本赤十字社では、このお金を災害救助活動、血液事業、社会福祉事業などの人道的活動に使わせていただきます。ご協力いただいた皆さんに心からお礼を申し上げます。

緑化苗木の無料配布

■都市計画課 ②2073



10月27日(日)午前10時
 所 渋川駅前通り歩行者天国会場内平沢橋付近

※雨天で歩行者天国が中止

の場合はエッグホールで配布します。

配布樹種 ミカン、ブルーベリー、洋ナシ、プルーン、モミジ(計500本先着順)
 他 当日は、緑の募金活動を行います

募集

心と体のリラクゼーション講座

■渋川保健センター ②51321

ストレスをため込まないために、楽しく体をほぐして緊張を和らげ、心をほぐしてみませんか。

10月29日(火)、11月5日(火)午後1時30分～3時(受付は午後1時15分から)
 ※2日間を1コースとして行います。

所 渋川保健センター
 内 リラクゼーション法の講話と体験実習(呼吸法や弛緩法、ヨガの技法を取り入れたもの)

師 梅沢栄さん(健康運動指導士)
 対 心と体の健康づくりに関心のある人

定 30人(先着順)

持 飲み物、タオル、動きやすい服装

問 電話で渋川保健センターへ
 期 10月22日(火)まで

文学館

文学サロン講演会

徳富蘆花記念文学館 ②2237



講師の太田さん

11月6日(水)午後1時30分～3時
 所 徳富蘆花記念文学館
 内 「愛について」

師 太田治子さん(作家・神奈川県小田原市生まれ・父は太宰治、母は太田静子)

定 80人(先着順)
 費 350円
 申 電話で徳富蘆花記念文学館へ

期 10月7日(月)から
 ※受付時間は午前8時30分～午後5時。

【広告】

市戦没者追悼式を開催します

先の大戦における戦没者を追悼するとともに、恒久平和を祈念するため、無宗教献花方式による式典を行います。また、式典終了後、小学生平和推進啓発作文入選者の朗読を行います。

時 10月31日(木)午後1時

所 市民会館

対 戦没者の遺族、作文朗読者の関係者、一般市民
 詳しくは、本社会福祉課(②2111)へ。

広告募集中

福祉

渋川老人福祉センター
からのお知らせ

渋川老人福祉センター

☎1765

〈カラオケ発表会の参加者募集〉

時 10月31日(木)午前10時～午後3時

所 渋川老人福祉センター
内 歌謡曲、民謡、唱歌などから1曲を披露(年齢制限無し・順位はつけない)

定 70人(先着順)

費 60歳未満は入館料200円

申 直接渋川老人福祉センターへ

期 10月13日(日)～20日(日)午前9時～午後4時

〈ふれあい浴場〉

時 10月27日(日)

内 渋川老人福祉センター内浴場の無料開放(市民のみ)
〈無料巡回バスの運行〉

時 毎週日曜日

コース 午前9時15分金島駅発、9時50分スカイテルメ渋川、10時15分渋川老人福祉センター着。帰りは午後2時センター発
〈健康相談〉

時 10月31日(木)午後1時30分
所 渋川老人福祉センター
師 塚越秀勇さん(渋川)御蔭

〈11月の休館日〉
5日(火)、6日(水)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、26日(火)

図書館

市立図書館の
催し物案内

市立図書館 ☎0644

いずれも会場は市立図書館、参加料は無料です。

子ども映画会

時 10月12日(土)午後2時

内 「きつねのかんちがい」「みみずくとお月さま」「ミッキーのグラントオペラ」

〈萌えの子おはなし会〉

時 10月19日(土)午後2時

内 絵本「いもほりやま」「おつきさん」「まいごうさぎのポッキー」
▽紙芝居
「どんぐりぼとん」



〈映画鑑賞会〉

時 10月20日(日)午後2時

内 「悲しみのミルク」(監督クラウディア・リヨサ)主演マガリ・ソリエル、スシ・サンチエス/2008年・ペル
ー映画)

公民館

親子のリトミック教室

■渋川公民館 ☎0999



時 11月1日(金)～12月20日(金)の毎週金曜日(計8回)
▽1部 午前10時～10時45分
▽2部 午前11時～11時45分
所 渋川公民館
内 「リズム」や「音楽」を楽

しみながら、集中力や協調性などを身に付けます

師 大島律子さん・松村友江さん

対 平成21年4月2日～23年4月1日生まれの幼児とその保護者

定 各部25組(超えた場合は抽選)

費 無料

持 上履き、飲み物

申 電話か窓口へ

期 10月28日(月)まで

催し物

地域づくり講演会

■生涯学習課 ☎2500



講師の一龍斎さん

時 10月17日(木)午後2時

所 市民会館小ホール

内 新作講演で13編の詩とともに「童謡詩人 金子みすゞの生涯」を語る

師 一龍斎水さん(講演)

費 無料

こころの健康づくりボランティア養成講座

本社会福祉課(☎2359)

時 11月15日(金)～12月13日(金)の毎週金曜日
午後1時30分～4時(計5回)

所 渋川ほっとプラザ

内 こころの健康について学び、地域で支援する仲間づくりをします

師 医師、保健師、ボランティアなど

対 市内在住の人

定 30人(先着順)

費 無料

申 申込書(市社会福祉協議会、社会福祉課、各総合支所市民福祉課にあります)に必要事項を記入し、ファクスまたは郵送で市社会福祉協議会(☎1721・〒377-0008・渋川1760-1)へ

期 10月31日(木)まで

掲 示 板

市以外のお知らせ

「群馬銀行環境財団賞」募集

募集テーマ ①自然環境や生態系を守るための身近な実践活動、研究、提案など ②低炭素・循環型社会づくりに向けた身近な実践活動、提案など

応募資格 県内の営利を目的とする事業活動を行わない法人・団体(学校を除く)ならびに個人
※前回受賞から5年を経過した既受賞者も応募が可能。

表彰内容 表彰式を開催し、助成金として1先20万円(7先以内)を贈呈します **応募方法** 応募用紙(群馬銀行環境財団ホームページからダウンロードまたは電話で請求してください)に記入して、郵送で群馬銀行環境財団(〒371-0846・前橋市元総社町171-1)へ **期** 12月6日(金)まで
問 公益財団法人群馬銀行環境財団(☎027-255-6160)

映画「ワーカーズ」上映会

時 11月10日(日) ▷第1部=午前10時30分開演 ▷第2部=午後1時30分開演 ※開場は、各部とも開演時間の30分前から。
所 勤労福祉センター **内** 「仕事づくり」「仕事おこし」をドキュメンタリータッチで描いた映画
入場券 ▷当日券=1,300円 ▷前売券=1,000円 ▷学生=800円
※販売については、下記に問い合わせてください。
問 ワーカーズ渋川上映実行委員会・川合良輔さん(☎6725)

目で見る渋川400年展

渋川村が町割^{まちわり}されて400年の節目を迎える今年、渋川をもっと知り、渋川の魅力を再発見するための展示会を開催します。
時 10月26日(土)～11月10日(日) 午前10時～午後6時 **所** 市美術館3階市民ギャラリー **費** 無料
問 村上守彦さん(☎090-4724-3037)または渋川町割400年ホームページ(☎http://sb400.web.fc2.com/)

シニア太極拳体験教室

時 10月15日(火)～12月12日(木)の毎週火曜日午後2時～4時、毎週木曜日午前10時～正午(計18回) **所** 市武道館 **費** 無料
対 60歳以上の人 **持** 室内用運動靴、運動のできる服装 **申** 当日直接会場へ **問** 渋川市太極拳クラブ・高橋もと江さん(☎63017または090-5584-3466)

「おもてなしの心」セミナー 参加者募集

時 10月22日(火)午後7時～8時30分 **所** エッグホール **師** 矢部輝男さん((株)JR東日本テクノハートTESSSEI専務取締役/新幹線<お掃除の天使たち>の仕掛け人) **費** 無料 **申・問** 渋川駅前通り商店街振興組合事務局(☎・FAX28066)

「まちづくり標語懸賞」募集

課題 「人にやさしいまちづくり」
応募部門 一般の部、児童・生徒の部(中学生以下) **賞** 各部特選1点(賞状と副賞進呈・来年5月に受賞者に通知) **応募方法** はがきに標語(1枚につき1点・一人複数点応募可)、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、職業(または学校名・学年)、応募部門を明記の上、(公財)都市計画協会内まちづくり標語募集係(〒102-0094・東京都千代田区紀尾井町3-32)へ **応募期限** 12月31日(火)(当日消印有効) **問** 県都市計画課(☎027-226-3665)

ワン・ストップ無料相談

経営、労務についてお困りの中小企業のための、無料相談窓口を開設します。
相談内容 ①販路開拓、新規事業、資金調達などの経営課題について ②賃金・退職金制度、労働時間制度の見直しなどの労務管理について ③事業場内最低賃金引き上げに伴う助成金について ※ぐんま総合相談支援センター、経済産業局などから派遣された専門家が、事業場の実態を把握、分析した上で、具体的な課題解決手法を提案します。
費 無料 **問** ぐんま総合相談支援センター(☎027-353-4828)

東日本大震災復興応援チャリティ

森永一衣ソプラノリサイタル

しぶかわ観光大使である森永一衣さんが、2012年の上毛ホールからスタートした、東日本大震災復興応援のためのチャリティーコンサート第3弾を渋川市で開催します。
時 11月16日(土)午後2時～4時(開場は午後1時30分から)
所 金島ふれあいセンター

出演 森永一衣(ソプラノ)、篠崎愛恵(ピアノ)
曲目 「日本の懐かしい名曲」「世界の名曲」「イタリアオペラのアリア」
入場券 2,500円(前売り・全席自由)
※前売り開始は、10月6日(日)からです。販売については、問い合わせてください。
問 森永一衣事務所(☎・FAX03-3557-1750)または、森永一衣後援会事務局(立見さん宅・☎・FAX25351)
他 収益金の一部は、東日本大震災義援金として、被災地へ寄付をします

三者の絆づくり

今月から毎月1日号で、5回にわたり「三者の絆づくり」を連載します。このシリーズでは、学校・家庭・地域三者連携推進事業の各地区の取り組みを2地区ずつ紹介。次代を担う子どもたちの育成に励む各地区の様子をご覧ください。

詳しくは、■学校教育課(☎2121)へ。

古巻地区／絆サポーターなどから食の大切さを学ぶ



苗植えをする児童たち

〈野菜名人から学ぶ〉
5月13日に古巻小学校の2年生が、生活科の学習として野菜の苗植えを実施。この学習には地域の「野菜名人」(子ども生き生き絆サポーター)7人の人たちに協力してもらいました。野菜名人から、苗の扱い方、水やりの仕方など、いろいろ教えてもらいながら自分たちが持つてきた野菜の苗を植えました。その後は、学校の畑でサツマイモの苗を植栽。土に指で穴を開けてから苗を植えることを教えてもらった子どもたち。慣れない手つきでしたが、「いっぱいサツマイモができますように」と願いながら、一生懸命植えました。



田植えをする生徒たち

〈稲作で食の大切さを学ぶ〉
7月6日に半田早尾神社西の水田で古代米づくり(田植え)体験教室が行われました。この体験教室は、平成2年から古巻中生徒と一般市民参加者を対象に、日本のお米のルーツや生産過程を理解し、収穫の喜びを体験することを目的に行われています。
当日は、古巻地区青少推半田高能率機械組合、文化財保護課の協力を得て行われました。この体験教室を通して、自然の恵みに感謝し食の大切さを学ぶことができます。今後は、11月に「稲刈り」、12月に「収穫祭」が予定されています。

伊香保地区／みんなで守る“スケートと石段の街”



清掃活動に取り組む児童・生徒たち

〈清掃で町をきれいに〉
6月28日に伊香保小学校の校庭をスタートとし、伊香保町を8方面に分け、空き缶やごみなどを拾う清掃活動を実施しました。これは、小学校3年生から中学校3年生までを縦割りにし、保護者や環境美化推進協議会、伊香保総合支所、地域住民など多くの人たちの協力を得て行う歴史ある活動の一つです。自分たちの住む町の清掃活動を通して、伊香保温泉にやってくるお客様へのおもてなしの心や奉仕の心を育てます。
活動終了後は、みんな疲れた様子でしたが、自分たちの町をきれいにしたいという達成感が感じ取れました。



スケートに挑戦する児童・生徒たち

〈スケート教室・記録会〉
毎年、冬の体育の一環として行われている「スケート教室・記録会」(小学校は発表会)は、地域のスケートクラブや保護者の協力を得て、盛大にそして楽しく行われている伝統行事です。「伊香保っ子は、全員がスケートが滑れる」を目標に、「スケートと石段の町」を長く引き継いでいきます。
近年、アイスホッケー部やスピードスケート部の入部者が極端に減少しています。立派なスケートリンクがあるのに、とても残念なことです。このスケート教室から、少しでも多くのスケーターが育つことを期待します。

歯周疾患検診を行います

検診期限は来年1月31日
希望者は忘れずに受診を

市では、高齢期における健康維持と、歯の喪失の予防を目的に、歯周疾患検診を実施しています。検診は、歯こうなどの付着状況や歯周の炎症を診査します。
今年の1月に行った「健康診査等調査票」による調査で、歯周疾患検診の受診を希望した人に、受診票を郵

送しました。新たに受診を希望する人は、**■** 渋川保健センター(☎②⑤1321)へ電話または直接窓口で申し込んでください。
対 市内在住で、今年度中に30歳・40歳・50歳・60歳・70歳に到達する人
検診期限 平成26年1月31日(金)

委託歯科医院 別表1のとおり
費 1000円
※生活保護世帯と市民税非課税世帯は無料になるので、事前に渋川保健センターまたは各総合支所市民福祉課に申請してください。
詳しくは、渋川保健センターへ。



(別表1) 歯周疾患検診指定歯科医院一覧

地区	医療機関名	電話番号	地区	医療機関名	電話番号
渋川	いいつか歯科医院	②0808	渋川	吉岡歯科クリニック	④8289
	石北歯科医院	②0235	伊香保	三剛歯科医院	⑦3430
	石田歯科医院	⑤0411	小野上	小野上歯科診療所	⑤2493
	オカ歯科医院	③5315	子持	さいとう歯科医院	③5454
	K歯科医院	②2331		関歯科医院	⑤0530
	小林歯科医院	②0773	赤城	宮下デンタルクリニック	③4701
	こぶな歯科医院	②4939		あかぎ歯科医院	②06522
	佐鳥歯科クリニック	②0069		石岡歯科医院	⑥3535
	しまむら歯科医院	②01182	北橋	永井歯科医院	⑥8854
	高橋歯科クリニック	④8211		北橋歯科診療所	⑤3762
	田村歯科医院	②0942	吉岡町	エース歯科	⑤1181
	平形歯科医院	②0953		駒寄歯科クリニック	③05500
	ふくしま歯科医院	②0154		さくら歯科	③06333
	福田歯科医院	③6677		佐藤歯科医院	⑤48330
	船岡歯科医院	③8211		清水歯科医院	⑤43413
	ほしかわ歯科医院	④8835		スマイル歯科クリニック	③05033
	星野歯科クリニック	②0232		たぎざわ歯科医院	⑤56480
	宮下歯科医院	④1939		たけうち歯科医院	⑤7700
	山川歯科医院	②0260		明治歯科診療所	⑤8101
	山崎歯科医院	⑤1184		榛東村	あおば歯科医院
山下歯科医院	②0648	真下歯科クリニック	⑤1366		

「わかば健康診査」の休日健診／11月9日と10日に実施します

若年層を対象に月1回実施している「わかば健康診査」。今後の日程などは、別表2のとおりです。なお、11月9日(土)、10日(日)は休日健診を行います。わかば健康診査をまだ受診していない人で、平日に受診できない人は、ぜひ、この機会に受診してください(休日健診を受ける

には、事前に電話予約が必要です)。

因 問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査(医師の指示によっては、肝機能、糖代謝、貧血検査を実施します)

若いからといって油断は禁物!
すすんで健診を受けましょう!!



(別表2) わかば健康診査日程

日	程	受診時間	ところ
10月	24日(木)	午後1時30分～3時	渋川保健センター
11月	9日(土)	午前9時30分～11時 (要予約)	
	10日(日)		
	27日(水)	午後1時30分～3時	
12月	9日(月)	午前9時30分～11時	

対 今年度末時点で20～39歳の人(昭和49年4月1日～平成6年3月31日生まれ)

持 わかば健康診査受診票、個人負担金500円、健康手帳(持っている人)

申 電話で**■** 渋川保健センター(☎②⑤1321)へ
他 新たにわかば健康診査の受診を希望する人は、渋川保健センターへ連絡してください



楽しく簡単! 自家製パンに挑戦!!

市食生活改善推進員連絡協議会(食改推)小野上地区では、手作りパン教室を開催します。粉から自分で手を掛けると、添加物を極力減らした安心なパンを作ることができます。家族に食べさせたい安心なパンの作り方を楽しく学んでみませんか。

時 11月1日(金)午前9時30分～午後1時(受付は午前9時～9時30分)

所 旧小野上保健センター調理室

内▷健康と食生活についてのミニ講話
▷身近な食材を利用した自家製パンの調理実習(ミニ食パン、アップルカスタードロール、スープカレーなどを予定)

対 市内在住・在勤で健康に関心がある人

定 20人(先着順)

費 300円(材料費)

持 エプロン、三角きん、筆記用具

申 電話か直接 **■** 渋川保健センター (TEL 251321) または各地区の食生活改善推進員へ

期 10月7日(月)～23日(水)

ザスパクサツ群馬介護予防教室

**市内6会場で開催します
筋トレや栄養講座で健康づくり**

時・所 ▼市民体育館 11月7日(木)、21日(木) ▼伊香保公民館 11月11日(月)、18日(月) ▼小野上福祉センター 11月10日(月)、24日(木) ▼子持社会体育館 11月14日(木)、22日(金) ▼赤城総合運動自然公園スポーツセンター 11月5日(火)、12日(火) ▼北橋公民館 10月30日(水)

11月6日(水)

※時間は各会場とも午前10時～11時30分

内 ①善衆会病院理学療法士による介護予防 ②ザスパクサツ群馬による生活動作に必要な体の動きを身に付ける運動の指導(ウォーキング、筋力トレーニングなど) ③群馬ヤクルト(株)



管理栄養士による栄養講座
対 市内在住・在勤の60歳以上の人
定 各会場とも30人(先着順)
費 無料
持 動きやすい服装、タオル、室内用運動靴など
申 電話で **■** 体育課 (TEL 2104) へ

10月27日/介護予防教室

市では、在宅介護支援センターの協力により、皆さんがいつまでも元気で日常生活が過ごせるように、介護予防教室を開催します。

時 10月27日(日)午前10時～11時30分(受付は午前9時30分から)

所 特別養護老人ホーム春日園(中郷2599-7)
内 二日数分簡単体操

をテーマとした、腰痛予防体操・お口の体操・施設見学・福祉用具の展示
師 在宅介護支援センター春日園職員

対 市内在住・在勤の人

定 20人(先着順)

申 電話で渋川市在宅介護支援センター春日園 (TEL 2506) へ
期 10月26日(土)まで
(本高齢福祉課)

11月8日/家族介護講演会

市では、家庭での介護を上手に乗り越えていくための知識や技術、心構えなどを知ってもらうために、家族介護講演会を開催します。

時 11月8日(金)午後1時30分～3時(受付は午後1時から)

所 渋川ほっとプラザ
内 「介護とくまぐつきあう方法」家族を支援し地域をつくる」
師 渡辺俊之さん(高崎健康福祉大学大学院教授)

対 市内在住の人

定 150人

費 無料
申 電話で本高齢福祉課 (TEL 2116) へ

期 11月1日(金)まで
他 講演会終了後、保健師による介護相談を実施します。また、40歳以上の参加者に、元気ポイントを2ポイント差し上げます。元気ポイントは5ポイントで市有日帰り温泉施設無料入浴券1枚と交換できます

シリーズ 命を守る授業

毎月掲載 / 7時限目

自分の命は誰が守る

市消防防災対策室(☒行政課内)

この授業では、市民の皆さんに「防災」について少しでも考えてもらい、日ごろから災害に備えてもらうことで、多くの命が守られていくことを願い、情報をお知らせするものです。

7時限目の今回は、「自分の命は誰が守る」についての授業です。(寄稿:防災専門員・小金澤照昌)



昭和22年のカスリン台風の被害(赤城地区)。過去の災害を忘れてはいけません

今夏は、各地で大雨による土砂災害や家屋浸水の被害などが相次ぎました。被害に遭われた人たちの共通した言葉が印象的でした。どんな言葉だと思えますか？それは「今までにこんな事はなかった」という言葉です。

〈忘れてはいけない過去の災害〉

市防災専門員として勤務して1年が経過します。30回以上の講演で「命の大切さ」について、お話しさせてもらいながら、過去の災害履歴を聞きましました。昭和22年のカスリン台風、昭和34年の伊勢湾台風などの被害の話も聞き胸が痛くなりました。その他にも、家の損壊や土砂流入による被害などの話を聞くことができました。このことは、東日本大震災同様、風化させてはいけない事実です。

〈災害をイメージしてみる〉

過去に各地で発生した災害を思い出してください。その時に「誰が私の命を救ってくれるだろう」と考えてみてください。さて、自分の命を守るのは誰でしょうか？

例えば、大きな台風が来たときです。県全域に「大雨注意報」発令。注意報から12時間経過。台風は強さを増して接近し、県全域に「大雨強風警報」発令。降り始めからの雨量は本市で300ミミを超えました。県の「土砂災害警戒警報」の発令を受けて、本市は「避難指示」を全域に発令しました。

生き抜くために私たちがすべきこと

皆さんはこの状況を聞いて、避難しますか？自分の地区に被害が出ていないから「私には関係ない」と、避難しない人が大半かもしれませんね。

〈災害時の行政の対応にも限界が〉

災害時に行政は各地区自治会長、防災リーダーなどから情報を入手します。市民の命を守るために、最善を尽くして、早めの発令を心掛けますが、情報の「入手」展開「処理」判定「判断」発令といった手順を踏むため、タイムリーな発令が難しい場合があります。そして行政の最大の欠点は、情報入手に限界があるということです。小野子のAさんの家が床下浸水、溝呂木のBさん宅裏山の土砂崩れなど、その地区で起こる事を、タイムリーに情報入手するのは困難です。このため「避難指示」を発令する時期は、事態が起これば、つてしまつてからになる可能性が大きくなります。

〈自分の命は自分の努力で守る〉

このことから、「自分の命は自分の努力で守る」ということを再認識してもらい、早めの自主避難を心掛けてほしいと思います。自主避難の判断をするのは、「自分」です。前にもお話をした「正常化の偏見」を思い出し、勇気を出して「避難」の一步を自ら踏み出してください。そして、「避難」の際には、隣近所に声掛けをして、多くの人たちを助けてください。

防災
〇×
クイズ

①災害伝言ダイヤルの電話番号は117である。

②阪神・淡路大震災での死因は、約8割が焼死である。

(答えは、次号に掲載します)

【前回9月1日号の答え】 ①…〇 とにかく頭を守ることが肝心。買い物かごをかぶる際は、頭との間に隙間をつくってください。②…× とにかく大声で「火事だ」と叫び火災を知らせてください。それから、消火・避難行動をとってください。

頭部外傷後の注意

洪川総合病院
脳神経外科医師

「頭をぶつけたら」「どのようなことに注意し、対応するべきでしょうか。」

■意識がない

(気を失った)場合

頭を打った後に意識がなく反応がない場合は、脳に障害が生じている可能性があります。周囲の人は速やかに救急車を呼び、病院へ搬送してください。飲酒後は判断がつきにくく、受診が遅れることがありますので要注意です。

■皮膚から出血している場合

頭の皮膚には血管が多いため、傷がつくと小さなけがでも思いのほか多く出血し、驚く人がいます。しかし、ほとんどの場合、傷口周囲を圧迫することにより出血量を抑えることができます。傷口に清潔なガーゼやタオルを当てつつ病院へ行ってください。

■小児の場合

繰り返す嘔吐は危険な徴候です。顔色が悪い、ぐったりしている、元気がない、食欲がない、視線が定まらないな



どが危険信号です。また、歩き始めのころ(12カ月前後)は頭部外傷で頭の中に出血しやすい状態となっています。転倒には注意してください。

■成人(高齢者)の場合

成人(特に高齢者)が軽く頭をぶつけ、その時は症状が無く、病院で検査しても異常が無い場合でも、受傷後2週間〜3カ月位で頭の中に血が貯まる場合があります(慢性硬膜下血腫)。これは、認知症、頭痛、まひ、歩行障害、失禁などの症状を来します。「いつもと違うな」と感じたら、病院での検査をお勧めします。

■予防・防御が大切!

当然のことですが、ヘルメット、ヘッドギアの装着により外傷を軽くすることができます。また、シートベルトの装着、チャイルドシート of 適切な使用を厳守してください。

守り育て未来につなぐ

しぶかわの環境

隔月4回掲載/第4回

ごみの減量と適正な処理を ~できることから今すぐ始めよう~

本市のごみ排出量は、平成24年度実績で約3万1,041tでした。そのうちの7割近くが家庭系のごみ、約3割が事業系のごみとなっています。

■家庭系ごみについて

各家庭での日常生活から排出されるごみです。このうち約9割が燃えるごみで、その約3割(過去5年平均)が生ごみです。



生ごみの水切りを
忘れずに

本市の家庭1世帯が1日に出すごみの量は1,792gで県の平均を上回っており、その減量が急務となっています。

生ごみは水分が多いため水を良く切って出すことで、ごみの減量

が期待できます。

また、市では生ごみ処理機などの購入費補助制度もありますので、ご利用いただき、ごみの減量にご協力ください。制度についての詳細は、**本環境課(☎@2114)**へお問い合わせください。

■事業系ごみについて

小売業・製造業・サービス業・農業などの各種事業活動から排出されるごみです。

事業系ごみは、各地区内にある「ごみ集積所」へは排出できません。事業系の廃蛍光管や廃食用油についても同様です。事業者が自ら施設へ持ち込むか、許可業者へ委託し適正に処理してください。

■ごみ出しのマナーを守っていますか?

集積所に出されたごみでマナーが守られていないものが多く見られます。ごみを出すときは市の指定袋に入れる、きちんと分別をするなどのマナーを守って出してください。

(**本環境課**)



しづかわ
フォト

【そばの花 大地を飾る】

撮影場所：北橘町八崎地内
撮影日：平成24年9月26日
撮影者：田子達野さん(北橘町分郷八崎)

皆さんが市内で撮影した写真を募集します。写真にタイトルと撮影場所、撮影日、住所、氏名を明記して☒秘書広報課(〒377-8501・石原80・☎kouhou@city.shibukawa.lg.jp)へ(写真は返却しません)。※特定の人物を中心に撮影しているものなど、写真によって掲載できない場合があります。



郷土の魅力をひとめぐり **渋川かるた** vol.39
洞くつに りりしくたたずむ 石のぞう

「宮田のお不動様」と呼ばれる赤城町宮田の「石造不動明王像」は、昭和38年に国の重要文化財に指定されています。墨書によると鎌倉時代にあたる1251年に、院隆、院悦両仏師によって造られました。一目諦視の忿怒の相で、右手に智剣、左手に羂索を持ったほぼ等身大の造像です。力強いながらも温厚な雰囲気さを漂わせており、優美で重厚な鎌倉期の特徴がうかがえます。

「お不動様」は、悪魔を降伏させ、行者を護り、知恵と長寿を授けてくれるという不動明王として、多くの信仰を集めました。現在は不動寺境内の絶壁の洞穴に安置され、年に一度1月28日の縁日に拜むことができます。

※本号をもって「渋川かるた」のコーナーを終了します。

編集後記

食欲の秋ですね。食欲旺盛になったこの季節、私は体重が増加しているのが確実なため、体重計には乗っていません。そろそろ見て見ないふりを辞め、ダイエットを兼ねた、県民マラソンの練習を始めたいと思います。目指せ10km完走！スリムボディー！（田）